

びわ湖環境ビジネスメッセ2016 共催セミナー

## 『産業化を目指す植物バイオ研究』

日時：平成28年10月20日(木) 13:30～15:30

場所：びわ湖環境ビジネスメッセ会場内

長浜バイオ大学ドーム セミナー室①

(滋賀県立長浜ドーム)

滋賀県長浜市田村町1320 ※JR北陸線田村駅より徒歩約5分

無料

日本の植物科学研究は世界に伍して急速に発展し、その成果の社会実装を目指した研究も実施されてきました。しかし、事業化に至った例は未だにごく僅かです。そのような中で、基礎研究から社会実装まで数十年にわたって取り組んでこられた2名の先生方に、その発見の経緯からこれまでの過程と将来展望をご紹介します。

## 「作物の生産機能強化を担うコリンの開発」

蔡 晃 植 氏 (長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科長)

## 「シンク・ソース機能強化による作物の生産性強化」

重岡 成 氏 (近畿大学農学部長)

コーディネータ 横田 明穂 氏

(奈良先端科学技術大学院大学名誉教授、滋賀バイオ産業推進機構理事長)

## 【申込方法】

びわ湖環境ビジネスメッセホームページ(URL:<http://www.biwako-messe.com>)からお申し込みください。

# びわ湖環境ビジネスメッセ2016共催セミナー 産業化を目指す植物バイオ研究

13:30 趣旨説明 滋賀バイオ産業推進機構 理事長 横田 明穂 氏

13:35 「作物の生産機能強化を担うコリンの開発」

長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科長 蔡 晃植 氏

(概要) 人の脳や循環器系の機能に不可欠な栄養素であるコリンを植物に散布すると、成長促進や収量増加が認められます。コリンはすでにサンキャッチやモーニングフレッシュなどの商品名で一般販売されておりますが、コリンの生育促進や収量増加の詳細な機構についてはいまだ不明です。本講演では、コリンの植物生長調製剤としての開発や最新のバイオテクノロジーを用いたコリンの増収効果に関する機構研究について紹介いたします。

14:25 休憩・準備

14:30 「シンク・ソース機能強化による作物の生産性強化」

近畿大学農学部長 重岡 成 氏

(概要) 近年、地球規模での急速な人口増加、環境変化(温暖化など)、化石燃料の枯渇によるバイオ燃料の生産、これらに伴う食糧生産・供給への影響など、様々な問題が毎日のようにマスコミを賑わしています。これらの問題を解決するための有効な手段の一つは、CO<sub>2</sub>を吸収して食糧や有用な物質の供給源となる植物(作物)の持つシンク機能(糖の貯蔵)およびソース機能(糖の生産)を遺伝子組換え技術で強化することです。本講演では、現在進行中のプロジェクトの成果も含めて、この研究分野の有用性と現状について述べます。

15:20 総合討論・質疑応答 (15:30終了)

日 時 平成28年(2016年)10月20日(木) 13:30~15:30  
場 所 長浜バイオ大学ドーム セミナー室①(滋賀県長浜市田村町1320)  
申込締切 10月18日(火)  
申込方法 びわ湖環境ビジネスメッセWEBページから  
来場事前登録のうえ、セミナーにお申し込みください。  
(URL:<http://www.biwako-messe.com>)



(JR北陸線 田村駅より 徒歩約5分)



会場周辺には駐車場がございません。

びわ湖環境ビジネスメッセには公共交通機関でお越し下さい。

- WEBからお申込いただけない方は滋賀バイオ産業推進機構事務局へご連絡ください。
- 定員を超えた場合はお断りさせていただくことがあります。
- ご記入いただいた個人情報は、主催団体および関係者による事業やイベントに関わる案内等の情報提供および事後の調査・分析等のみに利用し、その他の目的には一切使用しません。

お問合せ先 滋賀バイオ産業推進機構事務局(滋賀県庁モノづくり振興課内)

【TEL】077-528-3794 【FAX】077-528-4876